

2023 FIM 世界耐久選手権 “コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 44 回大会参戦体制について

Honda は、鈴鹿サーキット（三重県）で 8 月 6 日（日）に決勝レースが行われる「2023 FIM^{※1} 世界耐久選手権（以下、EWC）“コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース第 44 回大会（以下、鈴鹿 8 耐）」に参戦する主な Honda チームの体制を決定しました。

<以下、敬称略>

昨年 Honda に 8 年ぶりの優勝をもたらした「Team HRC」は、今年も Honda のワークスチーム^{※2}として「CBR1000RR-R FIREBLADE SP」をベースとしたワークスマシンで参戦します。今年、FIM スーパーバイク世界選手権（以下、WSBK）のライダーのイケル・レクオーナとチャビ・ビエルグが参戦します。この 2 人に加え今シーズンは MFJ^{※3} 全日本ロードレース選手権 ST1000 クラス（以下、ST1000）に参戦している高橋巧も参戦します。高橋巧は昨年の優勝ライダーであり、連覇をすれば通算 5 回目の優勝となり、鈴鹿 8 耐の最多勝に並びます。

2022 年の EWC シリーズチャンピオンを獲得した「F.C.C. TSR Honda France」は、レギュラーライダーのジョシュ・フック、マイク・ディ・メリオ、アラン・テシエの 3 名で参戦します。今シーズンは開幕戦のルマン 24 時レースで優勝し、現在ポイントランキングでは首位と 1 ポイント差の 2 位（第 2 戦終了時）につけており、シリーズチャンピオン連覇に向け、より多くのポイント獲得を目指していきます。

「SDG Honda Racing」は、MFJ 全日本ロードレース選手権 JSB1000 クラス（以下、JSB1000）参戦中の名越哲平に加え、昨年に引き続きスペインスーパーバイク選手権（以下、ESBK）に参戦している浦本修充と、今シーズン ST1000 クラスに参戦している國井勇輝が加わり、この 3 名体制で新たに参戦します。

FIM アジアロードレース選手権 Asia Superbike 1000 クラス（以下、ASB1000）に参戦中の「Honda Asia-Dream Racing with SHOWA」からは、モハメド・ザクワン・ビン・ザイディと、アンディ・ファリド・イズディハールに加え、FIM アジアロードレース選手権 Supersports 600 クラス（以下、ASS600）に参戦しているナカリン・アティラプワパとの 3 名体制になります。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム

※3 MFJ とは、Motorcycle Federation of Japan（一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会）の略称

【ライダーのコメント】

■ #33 Team HRC



高橋 巧 (ST1000 クラスに参戦中)

「今年も Team HRC のライダーとして鈴鹿 8 耐に参戦できて、とてもうれしく思います。WSBK からはイケル・レクオーナ選手、チャビ・ビエルゲ選手が参加してくれます。ライダー3人で Team HRC として優勝するために、最高のチームスタッフと力をあわせるとともに、自分の役割をしっかりと果たしたいと思います。是非、鈴鹿サーキットに来て Team HRC へのご声援をよろしくお願いします」



イケル・レクオーナ (WSBK に Team HRC より参戦中)

「今年も Team HRC として鈴鹿 8 耐で戦えることは非常にうれしいです。昨年は優勝することができましたが、決して簡単なレースでない事がよくわかりましたし、優勝したことで頂の高さを実感することができました。今年はチームメイトが、高橋巧選手、チャビ・ビエルゲ選手になります、彼らとともに走れるのが今から楽しみで仕方ありません。チーム、スタッフと共にベストを尽くし、また表彰台の一番上を目指します」



チャビ・ビエルゲ (WSBK に Team HRC より参戦中)

「今回 Team HRC から鈴鹿 8 耐に初めて参戦します。これまで多くのライダーが伝説をつくってきた同じステージにライダーとして参加できることを大変うれしく思っています。イケル・レクオーナ選手は、WSBK でもチームメイトであり、また高橋巧選手は過去優勝経験が豊富な素晴らしい選手です。ライダー3人で力を合わせれば、優勝できると信じています。応援よろしくお願いします」



長島 哲太 (HRC テストライダー)

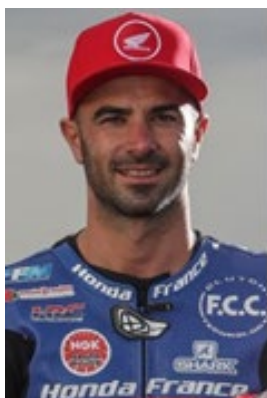
「今年は残念ながら左足のけがのために、エントリー時点ではまだ万全の状態ではありませんでした。しかしながら、1日でも早くテストに参加できるように、現在リハビリに努めています。また今年も 8 耐に参戦できるように、私も必死になって自分自身と戦っていきます」

■ #1 F.C.C. TSR Honda France



ジョシュ・フック (EWC に同チームより参戦中)

「鈴鹿に戻るのが本当に楽しみです。もっとも好きな場所のひとつであり、TSR と Honda のホームコースなので、マシンも相性のいいとても好きなサーキットです。ここまでのシーズンは、チームも、メカニックも、みんなが素晴らしい仕事をしてれています。だから、鈴鹿でのレースがさらに楽しみです。鈴鹿に来て、日本のファンのみんなに会えること、そして 2023 年にまた鈴鹿でレースができることを本当に楽しみにしています」



マイク・ディ・メリオ (EWC に同チームより参戦中)

「2023 年シーズンは、ルマン 24 時間レースで優勝し、とても良いスタートを切ることができました。チームはこの冬、より競争力を高めるために非常によく働きました。バイクの性能は上がり、メカニックもライダーチェンジ作業のスピードが上がりました。鈴鹿はいつも特別な場所ですので、表彰台に立つことが夢です。チームにとっても、Honda にとっても、特別なレースなので、できる限り速く走れるようにベストを尽くします」



アラン・テシェ (EWC に同チームより参戦中)

「今年も鈴鹿 8 耐に出場することができ、特に F.C.C. TSR Honda France チームと一緒に戦えることを大変うれしく思っています。今シーズンはルマン 24 時間レースでの優勝、スパ 24 時間レースでの 2 位と好調なスタートを切ることができました。チームの働きはとても良く、チームメイトもとても速いです。この伝説的なレースの後、チャンピオンシップのトップでスタートできるよう、全力を尽くします」

■ #73 SDG Honda Racing



名越 哲平 (JSB1000 クラスに同チームより参戦中)

「今年も SDG Honda Racing より鈴鹿 8 耐に参加できることをうれしく思います。昨年は僕自身、けがで万全の状態では挑めず、更にレースでは早々に他者の転倒に巻き込まれてしまうという悔しいレースになってしまいました。今年こそ、SDG 昭和電機グループ、そして 8 耐での歴史ある Honda、ハルク・プロと共に優勝を目指して頑張ります」



浦本 修充 (ESBK に参戦中)

「まずは今年も鈴鹿 8 耐に挑戦することができてうれしく思います。SDG 昭和電機グループ、ハルク・プロをはじめ SDG Honda Racing に関係する皆様に感謝しております。昨年は非常に悔しい結果となりましたが、上位を狙うスピードはあったので今年はそれを結果に結びつけられる様にテストから集中してチーム一丸となり頑張ります」



國井 勇輝 (ST1000 クラスに参戦中)

「今年は SDG Honda Racing から 8 耐参戦になりうれしく思っています。SDG 昭和電機グループ、チーム、スポンサーに非常に感謝しています。昨年、初めて参戦した 8 耐で多くの経験ができました。今年もしっかりとゴールまでバトンを繋いで頑張りたいと思います」

■ #88 Honda Asia-Dream Racing with SHOWA



モハメド・ザクワン・ビン・ザイディ
(ASB1000 クラスに同チームより参戦中)

「今年も鈴鹿 8 耐にまた参加できることにワクワクしています。4 月の鈴鹿 2&4 で行われたトライアウトを通過できました。チームが大変良い仕事をしてくれて、とても感謝しています。今回はこれまでで最高の結果を出すつもりです。皆さんの応援をよろしくお願いします」



アンディ・ファリド・イズディハール
(ASB1000 クラスに同チームより参戦中)

「前回鈴鹿 8 耐に参加したのは 2019 年ですので、また参加することができて、とてもうれしく興奮しています。今年は既に鈴鹿でテストも行っており、3 人のライダーと一緒にセットアップして、良い結果を出すことができました。今から次のテストとレースが待ちきれません。もちろん、一緒に最高の結果を出せることを願っています」



ナカリン・アティラブワパ (ASS600 クラスに参戦中)

「鈴鹿 8 耐に初めて参戦できることが、とても幸せでワクワクしています。私のレース人生において鈴鹿 8 耐に出走することは、夢の 1 つです。出場が決まったので、テストやレースで 100%プッシュできるように準備をしていきます。これからもチーム 3 人で全力を尽くして、皆さんの期待に応えたいと思っています」

【鈴鹿 8 耐に参戦する主な Honda チーム】

| ゼッケン | チーム名 | マシン | ライダー名 |
|------|---|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 | F.C.C. TSR Honda France (エフ・シー・シー・ディーエスアール ホンダ・フランス) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | Josh Hook (ジョシュ・フック) |
| | | | Mike Di Meglio (マイク・ディ・メリオ) |
| | | | Alan Techer (アラン・テシェ) |
| 17 | Astemo Honda Dream SI Racing (アステモ・ホンダ・ドリーム・ エス・アイ・レーシング) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | 作本 輝介 (サクモト・コウスケ) |
| | | | 水野 涼 (ミズノ・リョウ) |
| | | | 渡辺 一馬 (ワタナベ・カズマ) |
| 33 | Team HRC (チーム・エイチアールシー) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | 高橋 巧 (タカハシ・タクミ) |
| | | | Iker Lecuona (イケル・レクオーナ) |
| | | | Xavi Vierge (チャビ・ビエルゲ) |
| 40 | Team ATJ (チーム・エイティジエイ) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | 岩田 悟 (イワタ・サトル) |
| | | | 高橋 裕紀 (タカハシ・ユウキ) |
| | | | 小山 知良 (コヤマ・トモヨシ) |
| 72 | Honda DREAM RT 桜井ホンダ (ホンダ・ドリーム・アールディー・ サクライホンダ) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | 伊藤 和輝 (イトウ・カズキ) |
| | | | 日浦 大治朗 (ヒウラ・ダイジロウ) |
| | | | 荒川 晃大 (アラカワ・コウタ) |
| 73 | SDG Honda Racing (エスディージー・ホンダ・レーシング) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | 名越 哲平 (ナゴエ・テツペイ) |
| | | | 浦本 修充 (ウラモト・ナオミチ) |
| | | | 國井 勇輝 (クニイ・ユウキ) |

| ゼッケン | チーム名 | マシン | ライダー名 |
|------|--|-----------------------------|---|
| 88 | Honda Asia-Dream Racing with SHOWA (ホンダ・アジア・ドリーム・レーシング・ウィズ・ショーワ) | CBR1000RR-R FIREBLADE | Md Zaqhwān Bin Zaidi (モハメド・ザクワン・ビン・ザイディ) |
| | | | Andi Farid Izdihar (アンディ・ファリド・イズディハール) |
| | | | Nakarin Atiratphuvapat (ナカリン・アティラプワパ) |
| 104 | TOHO Racing (トーホー・レーシング) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | 清成 龍一 (キヨナリ・リュウイチ) |
| | | | 國峰 啄磨 (クニミネ・タクマ) |
| | | | TBA |
| 333 | Honda VILTAĪS Racing (ホンダ・ビルタイス・レーシング) | CBR1000RR-R FIREBLADE | Florian Alt (フロリアン・アルト) |
| | | | Steven Odendaal (スティーブン・オデンダール) |
| | | | Léandro Mercado (レアンドロ・メルカド) |
| TBA | TTS Racing MurayamaUnso Honda Dream (ティーディーエス・レーシング・ムラヤマウンソー・ホンダ・ドリーム) | CBR1000RR-R FIREBLADE SP | 秋吉 耕佑 (アキヨシ・コウスケ) |
| | | | 今野 由寛 (コンノ・ヨシヒロ) |
| | | | 中村 敬司 (ナカムラ・ケイジ) |

※ 上記参戦体制は、6月27日時点のもので、変更となる場合があります

※ ゼッケン番号に基づいた順で、チーム名を掲載しています